

重電機器受注生産品 2024年度 第Ⅱ四半期 及び 2024年度 上半期 受注実績

JEMAでは、わが国の重電産業の景況を、需要者(業種)別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2024年度 第Ⅱ四半期(7~9月)」及び「2024年度 上半期(4~9月)」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

2024年度 第Ⅱ四半期(7~9月)の概要

重電機器受注生産品の2024年度 第Ⅱ四半期(7~9月)の受注額は、5,164億円、前年同期比96.1%と前四半期のプラスから転じてマイナスとなった。(※以下、前年同期比は「同」と略記)

【需要者別動向】

- ◆ 内需は4,046億円、同93.1%と前四半期のプラスから転じてマイナスとなった。
 - 製造業は866億円、同105.4%と2四半期連続のプラスとなった。主要需要先のうち、鉄鋼業は同マイナスとなったが、はん用・生産用・業務用機械、自動車は同プラスとなった。
 - 非製造業は2,500億円、同87.8%と2四半期連続のマイナスとなった。主要需要先のうち電力業は2四半期連続のマイナスとなった。
 - 官公需は649億円、同101.0%と2四半期連続のプラスとなった。
- ◆ 外需は1,118億円、同109.1%と4四半期ぶりのプラスとなった。

【製品別動向】

- 発電機は174億円、同79.5%と前四半期のプラスから転じてマイナスとなった。電力変換装置は284億円、同72.2%と、遮断器は48億円、同31.6%とともに4四半期連続のマイナスとなった。
- 交流電動機は388億円、同122.9%と2四半期連続、変圧器は499億円、同116.4%と3四半期連続、配電装置は924億円、108.8%と12四半期連続のプラスとなった。制御装置は1,385億円、同100.4%と3四半期ぶりのプラスとなった。

2024年度 上期(4~9月)の概要

2024年度上期の受注額は、1兆77億円、同100.0%と前年並みとなった。

- ◆ 内需は7,967億円、同101.0%と7半期連続のプラスとなった。
- ◆ 外需は2,110億円、同96.3%と2半期連続のマイナスとなった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■ 対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。

・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

■ 公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

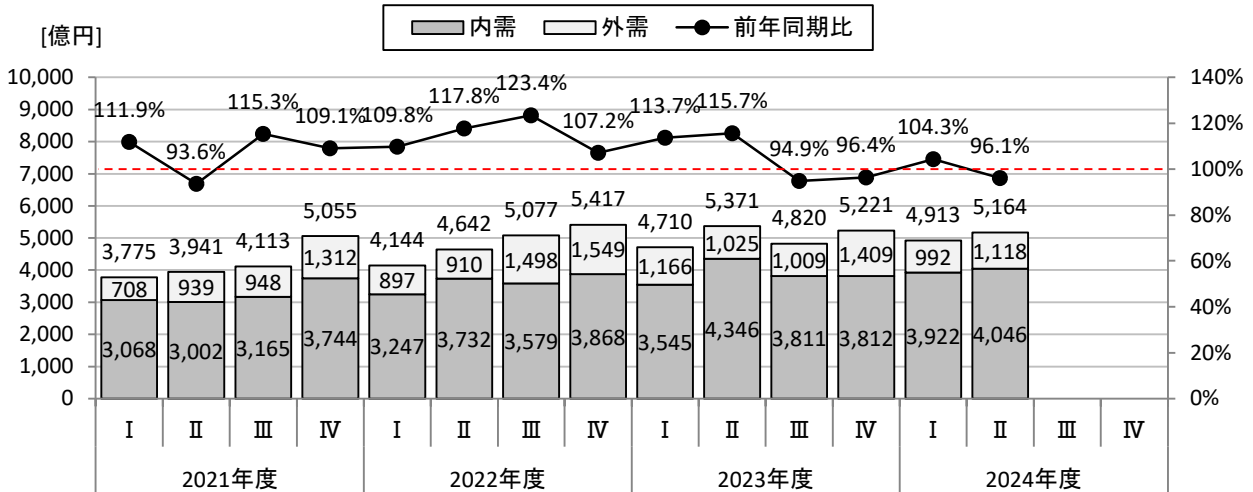
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

■ 公表の種類

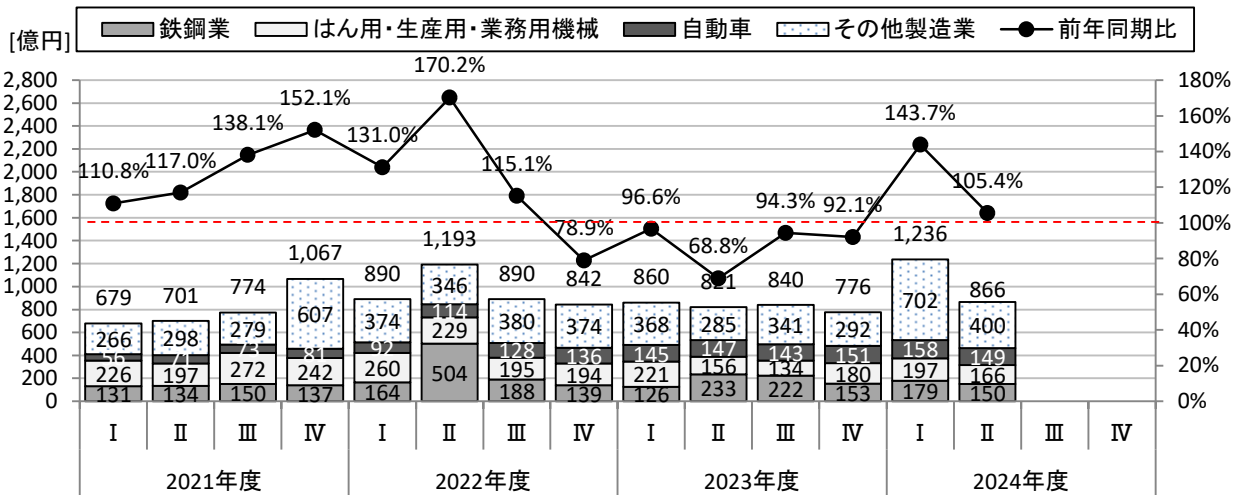
JEMA会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

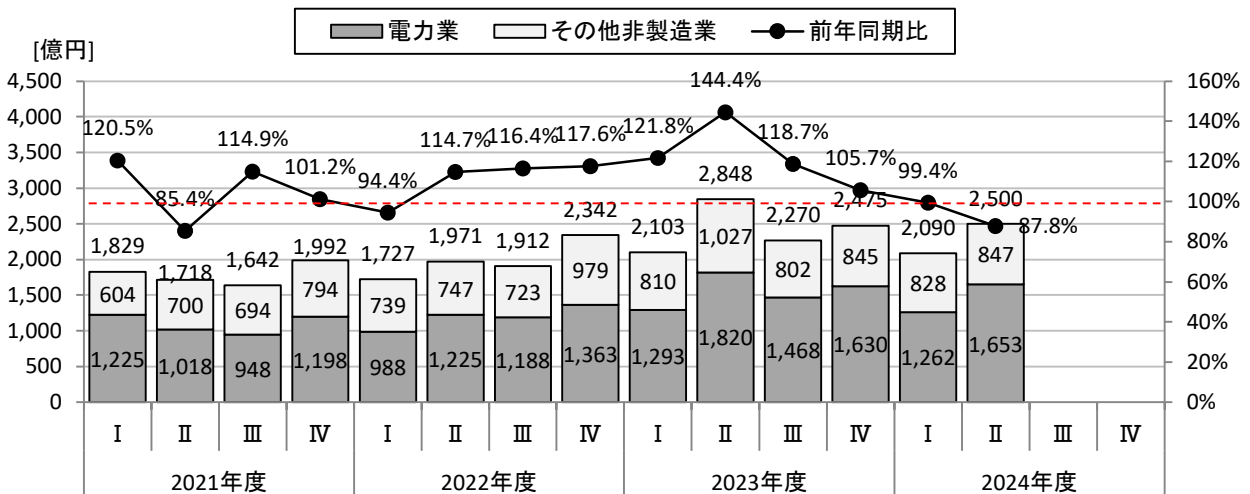
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL:03-3556-5882

企画部 統計課